

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立清新第一小学校

校長名 石橋 悟

名称: 一小タイム

学校の教育目標	◎思いやりのある子 ・進んで学習する子	・体をきたえる子 ・最後までやりぬく子 (◎は重点目標)
----------------	------------------------	---------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>

学校の総合的な学習の時間の目標
<p>1 地域探検や小中連携教育、地域行事への参加などを通して、自分の生活や地域の事象とのつながりを考え、地域に対する親しみと愛着を育てる。</p> <p>2 地域の問題や社会的な問題から課題を見だし、探究活動に進んで取り組む能力と態度を育てる。</p> <p>3 社会的な事象や科学的な事象を今までの経験や体験と関連付けて考えたり、目的をもって調べたりするなどして、よりよい学び方や考え方を身に付けられるようにする。</p> <p>4 自分たちが考えた課題について、友達と協力して解決することができる態度や能力を育てる。</p> <p>5 情報機器の活用において、自他の思いや願いを意識する活動を通して、情報モラルを育成する。</p>

育てようとする資質や能力及び態度	
知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
・課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考えることができる。	・問題状況に応じて事象間の因果関係を分析したり、推論したりすることができる。
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
・自然や生命の不思議さを感じたり、いろいろな事象に対して疑問をもったりする。	・自分が疑問に思ったことから、調べる活動を通して、その疑問を解決し、新たな課題を見付けようとする。
主体的に学習に取り組む態度	
第3・4学年	第5・6学年
・他者と協同して課題を解決する。	・自己の将来を考え、夢と希望をもつ。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・身近な自然環境、地域社会	・身近な自然の存在とそのよさ
第4学年	・身近な自然環境と環境問題、環境を守るために従事している人々	・身近にある環境のよさ、環境の保全、よりよい環境の創造
第5学年	・食をめぐる問題とこれからの農業と生産者	・食の大切さ、日本の農業を支える人々の努力と想い
第6学年	・自分たちの消費生活と資源やエネルギー問題	・地球規模の環境問題、環境を守るための仕組み

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<p>・3年生は地域、4年生は環境、5年生は農業、6年生は社会問題を主な学習活動とする。</p> <p>・単元については、主なテーマを中心として各学年で新たな単元を開発し</p>	<p>・協同的学習の充実</p> <p>・諸感覚を駆使した体験活動の充実</p> <p>・対話を中心とした個別支援</p>	<p>・教育課程編成委員会におけるカリキュラムの作成と運営管理</p> <p>・地域の人材や専門家との連携した学習支援</p> <p>・担任外の教員による支援体の確立</p>	<p>・目標、指導、評価の一体化の充実</p> <p>・個別評価カードの活用</p> <p>・自己評価カードの活用</p>